

概 要

1. 沿革

平成17年8月1日に、宇和島市・吉田町・三間町・津島町が合併して新しい宇和島市が誕生した。旧宇和島市は、大正10年8月に宇和島町と八幡村が合併して宇和島市が誕生、その後昭和9年9月に九島村、昭和30年3月に三浦村・高光村、昭和32年1月に来村、昭和49年4月に宇和海村を編入している。

旧吉田町は、昭和30年3月に吉田町・立間村・喜佐方村・奥南村・玉津村・高光村の一部（知永）が合併している。

旧三間町は、昭和29年10月に三間村・二名村・成妙村が合併し、町制を敷き、昭和33年8月に広見町是延の区域を編入している。

旧津島町は、昭和30年2月に岩松町・畑地村・下灘村・北灘村・清満村・御槇村の合併により誕生している。

2. 地 勢

宇和島市は、東経132度34分、北緯33度13分、愛媛県西南部に位置しているため、北は西予市に、東は鬼北町・松野町、南は愛南町・高知県宿毛市・同県四万十市に接している。県都松山市からはJR予讃線で南下すること1時間20分、香川県高松市からは約3時間となっている。

西は宇和海に面し、入り江と半島が複雑に交錯した典型的なリアス式海岸が続き、4つの有人島と多くの無人島が点在する。東側の鬼ヶ城連峰は、海まで迫る急峻さを備え、起伏の多い複雑な地形をしている。海岸部の平野や内陸部の盆地に市街地や集落が点在し、河川の多くは宇和海へ注いでいるが、三間川は清流四万十川に合流して高知県へ流れている。

有人島を含めた東西が38.15km、南北が34.94kmあり、面積は468.19k㎡で、森林が71.0%、田畑が13.9%、宅地が2.7%を占めている。

3. 気 象

気候は、瀬戸内地区と太平洋沿岸地区の中間に位置しているため、年平均気温は16～17℃で四季を通じて温暖であり、降水量は夏期に多く、梅雨前線の影響や台風の通過が多い年では年間2,500mmを超えることもある。また、西側が豊後水道に面し、東側に1,000m級の高峰が連なることから、冬期は北西の季節風が吹き、海岸部と山間部では気温や降水量の差がみられ、山間部では積雪や結氷もみられるさまざまな気候をあわせもっている。

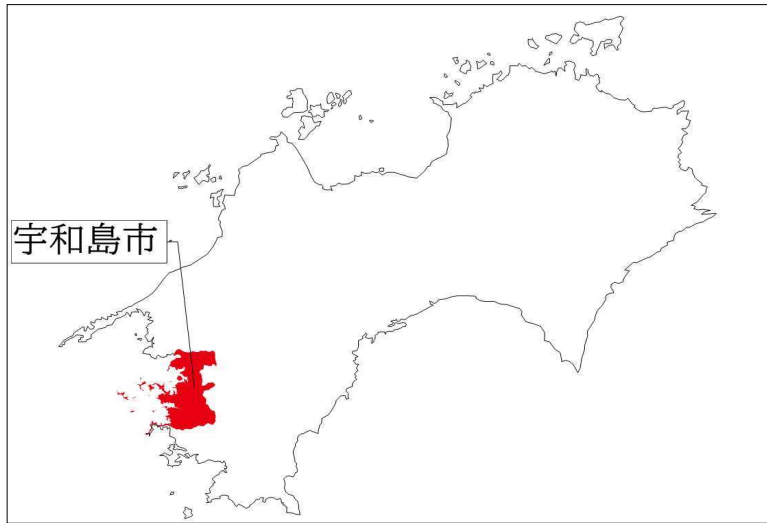
(令和3年4月1日現在)

4. 市政施行・面積・人口・常勤の特別職

(1) 市制施行 平成17年8月1日

(2) 市の位置

庁舎の位置	宇和島市曙町1番地	東経132度34分	北緯33度13分
地 域	東西 38.15km	南北 34.94km	



(3) 面積 468.19km²

(4) 人口及び世帯数 令和3年4月1日現在

人 口 男・・・34,054人
女・・・38,320人
計・・・72,374人

世 帯 数 35,751世帯

(5) 常勤の特別職

職 名	氏 名	任 期
市 長	岡 原 文 彰	平成29年 9月11日～令和 3年 9月10日
副 市 長	玉 田 光 彦	平成30年 1月 1日～令和 3年12月31日
教 育 長	金 瀬 聡	平成30年 9月28日～令和 3年 9月27日
病院事業管理者	市 川 幹 郎	平成30年 4月 1日～令和 4年 3月31日

姉妹都市

千曲市 伊達10万石、長い歴史に育まれた宇和島市は、旧藩政時代からの活発な外交政策などによって全国各地にその足跡を残しています。

特に、松代藩真田家(旧長野県更埴市)との親交は深く、二代藩主宗利侯の息女豊姫は藩主、真田伊豆守幸道のもとへ嫁ぎ、幕末の四賢侯のひとりといわれた八代藩主、宗城侯の子、幸民侯も真田信濃守幸教侯の養子となり、松代藩主となっています。豊姫については、輿入れの際、アンズの種子を持参され、これが十数万本に繁殖。いま千曲市は、アンズの里として観光名所になっています。

旧宇和島市が、昭和48年11月3日旧更埴市と姉妹都市盟約を締結しました。

平成15年9月1日、更埴市、上山田町、戸倉町の1市2町が合併し新市「千曲市」が誕生しています。

平成17年8月1日、宇和島市、吉田町、三間町、津島町の1市3町が合併し「新宇和島市」が誕生し、これを受けて平成17年12月5日姉妹都市盟約を再締結しました。

千曲市プロフィール

千曲市は長野県の北東部、善光寺平の南端に位置し、中央部は千曲川をはさんで市街地をつくり、外かくを農地が囲んでいる人口5万9千人のまちです。肥沃地味であり、水の便に恵まれ、米麦・果樹・そ菜・園芸作物の栽培に適しています。

大崎市 旧岩出山町は、宇和島藩の初代藩主秀宗が幼少期を過ごしたところで、岩出山の初代領主の宗泰は政宗の第四子で、秀宗の弟にあたります。

平成18年3月31日、古川市、岩出山町、三本木町、鳴子町、田尻町、松山町、鹿島台町の1市6町が合併し、新市「大崎市」が誕生しています。

大崎市プロフィール

大崎市は宮城県の北西部に位置する人口12万9千人のまちです。東は遠田郡、登米市、西は山形県、秋田県に接し、南は黒川郡、加美郡、北は栗原市に接しています。江合川と鳴瀬川の豊かな流れが、広大で肥沃な平野「大崎耕土」を潤し、「ササニシキ」「ひとめぼれ」に代表される良質米の一大穀倉地帯を形成しています。

仙台市 仙台伊達家とは、宇和島藩祖秀宗侯が仙台藩祖政宗侯の長庶子の関係にあり、代々の交流も盛んでした。両藩が接触を深めたのは明治維新の際で、宗城侯の子、宗敦侯が仙台藩主慶邦侯の養子となり、版籍奉還前後の動乱期には、時流に乗れなかった仙台藩のために大きな役割を果たしています。

平成17年8月1日、宇和島市、吉田町、三間町、津島町の1市3町が合併し「新宇和島市」が誕生し、これを受けて平成18年1月30日姉妹都市盟約を再締結しました。

仙台市プロフィール

仙台市は、藩祖伊達政宗以来、東北地方の中心地として発展してきました。中心部を貫流する広瀬川の河岸段丘上に発達した、緑に囲まれた美しいまちで、現在、人口は106万1千人。都市圏人口を含めると150万人にも及び、政治・経済・文化・交通など、東北地方の中核としての地位を確立しています。

ホノルル市 ホノルル市はハワイ経済の中心地で、世界各国から毎年650万人もの旅行者が訪れる観光都市です。

2001年2月9日えひめ丸事故を機に、諸分野の交通し、友情を育んできました。両市は、文化、教育、経済を中心とした交流を一層推進し、日米両国間の相互理解の促進に努め、世界恒久平和に寄与することを願い、平成16年6月14日、姉妹都市として盟約を締結しました。

当別町 伊達家の縁で、大崎市(宮城県)・当別町(北海道)・宇和島市(愛媛県)は、平成18年3月、3市町で「友好交流の証」を取り交わし、当別町と宇和島市は各種イベントでの相互交流、互いの農産物・海産物のPRや販売などで交流を深め、平成21年7月に姉妹都市締結をしました。

当別町プロフィール

札幌市の隣に位置し、人口は1万6千人。米・切り花・野菜などの生産に力を入れており、札幌近郊の田園都市として発展しています。

